



学びが世界をつなぐ 10 日間

ルワンダ研修プログラム（仮）

※正式タイトルは第 1 期参加者による提案で決定します。

ルワンダ研修プログラムの目的

本研修プログラムは、アフリカ・ルワンダ共和国で、教育や子どもの発達（ECD）、水・衛生、医療、開発課題を現場で体験し、学びと行動を結びつけることを目的としています。

- 【体験を通して知る】 農村の教育・生活・医療・水衛生の実情を体験的に理解する。
- 【考える】 日本との共通点や違いを考え、自分にできること・できないことを見つめる。
- 【行動する】 現地の人々と協働し、帰国後も行動を続ける力を育てる。

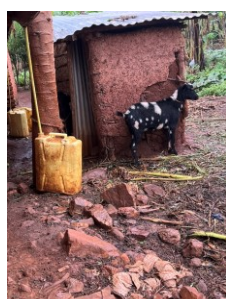
LeaD は「学びを通じて誰もが成長できる社会」を目指す NPO 法人です(2024 年 9 月東京都認可)。教育や国際協力分野で長年の経験を持つ小野由美子（LeaD 理事長/元 JICA 専門家）を中心に、アフリカでの豊富な現場経験をもつ LeaD メンバーが責任を持って企画・運営を担当します。



現場を見て、体験して知る



現地の人の話を聞き、一緒に考えて行動する



プログラムの特色

- 首都キガリと東部県カヨンザ郡の農村で活動。
全行程の半分（5日間・移動日を含む）は、農村地区での活動です。
- 少人数（最大3名）で柔軟に対応。
- 参加者の興味・専門に合わせて活動内容を調整可能。
- テーマがまだ定まっていない学生も歓迎。現地で実施可能な活動例を一緒に考えます。
たとえば：

▶教育学専攻：ECD センターで読み聞かせや手遊びを応用したワークショップを実施。

▶理工・開発学専攻：農村の水・衛生問題を聞き取り、報告書を作成。

▶医療看護系専攻：子どもの栄養発育状況観察、薪使用による健康被害の聞き取り。

※渡航前からヒアリングを行い、希望に合う活動内容の提案、ワークショップ実施に向けた支援をします。

※ワークショップを行う場合、対象は子ども（中学生くらいまで）やその保護者（母親であることが多い）、会場は、ECD センターや学校、Ready for Reading（日本の青少年センターに近い）を想定しています。

※活動に合わせた現地協力者（通訳含む）を紹介します。

※すべての希望に添えるわけではありません。

- プログラム最終日と帰国後に活動報告会を行い、学びを整理・共有します。

希望者には LeaD 理事長名（小野由美子 Ph.D）で参加証明書を発行します。

※一部の大学では、単位として認定される可能性があります。事前にご相談ください。

- プログラムに参加すること自体が**地域への貢献**です。参加費の一部は農村の方々への謝礼として支払われ、現地経済の支えになります。

- 希望があれば、現地の方からワークショップを受ける（例：クラフトづくり）こともできます。

- 講師の方には謝礼をお渡しするので、ツアー参加者と Win-Win の関係になります。

- ルワンダは、教育・ジェンダー平等の推進で注目されるアフリカの国ですが、都市と農村の格差が依然として大きい現状があります。

くわしくは右の QR コードから「ルワンダを知る」ページをご覧ください。

（https://lead2024.qc-plus.jp/top_page//studytour/rwandawosiru20251031.pdf）



私たちがサポートします

理事長 小野由美子（博士）



専門：国際教育協力
ルワンダ・南アで JICA
プロジェクト専門家
保育士

副理事長 西角 祐香（にしかど ゆか）

専門分野：教育
（理科・中学校）
2022-1 次隊 JICA
海外協力隊



現地コーディネータ

日程とサポート体制

日付		内容
3月8日	(日)	夜日本を出発
3月9日 (首都泊)	(月)	午後キガリ着 NPO スタッフお出迎え タクシーでゲストハウス 換金、現地 SIM カード購入など
3月10日 (首都泊)	(火)	首都 Kigali で滞在 Kicukiro 区長（日本留学経験者）、JICA 事務所など表敬訪問
3月11日 (首都泊)	(水)	首都 Kigali 滞在、実情把握 ・ウムチョムウィーザ学園（日本の支援により建てられた幼稚園・小学校） ・KEZA（現地 Ed Tech 企業／ https://www.kelf.rw ）など
3月12日 (地方泊)	(木)	東部県へ移動し、現地施設を訪問／交流を通して、農村の実情を把握 ・学校、Ruramira 地区の ECD センター ・現地 NGO（Ready for Reading、Akagera Good Neighbors、Hirwa Children's Foundation など）など
3月13日 (地方泊)	(金)	東部県 Kayonza 郡 Kabarondo で滞在／各自の目的に合わせて、調整 例：ワークショップに向けた聞き取り、暮らしの体験、zipline 見学 現地で活動する海外協力隊などの活動見学、交流
3月14日 (地方泊)	(土)	東部県 Kayonza 郡 Kabarondo で滞在／各自の目的に合わせて、調整 例：午前→ワークショップの準備、午後→ワークショップ実施
3月15日 (地方泊)	(日)	東部県 Kayonza 郡 Kabarondo で滞在／各自の目的に合わせて、調整 例：午前→ワークショップの準備、午後→ワークショップ実施
3月16日 (首都泊)	(月)	首都へ移動／各自の目的に合わせて、調整 例：午前→ワークショップ実施、私立小学校見学（Saint Tarcisius 校） 午後→首都へ移動、活動報告会の準備
3月17日 (首都泊)	(火)	首都 Kigali で滞在／半日は自由行動 午前：活動報告会（候補地：Kicukiro 区役所） 午後：帰国準備（お土産を買うなど）
3月18日	(水)	午後ルワンダ出発
3月19日	(木)	夜 日本帰国

【プログラムの性格とサポート体制に関する注意事項】

- 本プログラムは NPO 法人 LeaD が主催する教育・研修活動であり、旅行業法に定める旅行サービスの手配（募集型企画旅行、受注型企画旅行など）は含まれておりません。
- 航空券、宿泊施設、現地での食費等は各自で手配・負担をお願いいたします。
- 現地（キガリ国際空港）集合・現地（キガリ国際空港）解散です。同時期に出発予定の参加者間でフライト情報を共有できるよう、希望者にはグループ連絡を設定します。

【現地サポートについて】

- 空港での出迎えと移動：Lead スタッフがキガリ国際空港で参加者を出迎え、集合場所（ゲストハウス等）までの移動に関する情報提供とサポートを行います。この際の交通費は、参加者各自のご負担となります。（タクシー利用などを推奨）
- 研修活動中の移動：農村での活動など、研修プログラムの活動地域への移動手段は、プログラム運営に必要なものとして本 NPO が確保します。この費用は参加費に含まれる研修運営費から充当されます。
- 渡航・宿泊に関しては、Lead スタッフがこれまでの経験をもとに、安全で快適な宿泊先・交通手段の選び方をアドバイスします。ご希望があれば、Lead スタッフが利用した宿泊施設の情報などを共有いたします。
- 詳細は渡航前オリエンテーションで、安全面・手続きも含めて丁寧にご案内します。

費用・条件

- **参加協力費**：25 万円（以下のプログラム運営費を含みます）

参加協力費に含まれる費用：現地での通訳・活動調整費・講師・関係者への謝金・研修施設利用料・プログラム運営費・広報資料費 など

個人で手配・負担いただく費用：日本-ルワンダ間の往復航空券・現地宿泊費（9 泊分）・現地での食費・自由行動時の交通費・ビザ取得費用・予防接種費用・海外旅行傷害保険料・お土産代などの個人的諸費用（約 30 万円程度）

- 黄熱病ワクチン接種済み必須（他 A 型肝炎等推奨）／学生は保護者同意要
- 海外旅行保険必須

オンライン説明会について

研修への参加を検討されている方向けに、以下の日程で、オンライン説明会を実施します。

📅 11 月 17 日(月)	19 時～（質疑応答を含め、1 時間程度）
📅 11 月 24 日(月・祝)	14 時～（質疑応答を含め、1 時間程度）
📅 11 月 24 日(月・祝)	18 時～（質疑応答を含め、1 時間程度）
📅 12 月 19 日(金)	19 時～（質疑応答を含め、1 時間程度）

Google Form にて受け付けております。（12 月 19 日まで）

右の QR コード、もしくは下記 URL からお進みください。

（URL はこちら。<https://forms.gle/bDBFZAa5uSuVTmn39>）

※説明会では自己紹介（現地でやりたいこと）をお願いしています。

※ご家族の参加も可能です。



その他、ご質問等がありましたら、下記のメールアドレスにご連絡ください。

✉ lead20240924@gmail.com